



2024年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2024年1月10日

上場会社名 北雄ラッキー株式会社

上場取引所 東・札

コード番号 2747

URL <https://www.hokuyu-lucky.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 桐生 宇優

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 管理本部長 (氏名) 高橋 徹 (TEL) 011-558-7000

四半期報告書提出予定日 2024年1月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年2月期第3四半期の業績 (2023年3月1日~2023年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第3四半期	28,003	1.0	375	84.3	390	79.3	252	—
2023年2月期第3四半期	27,720	—	203	△16.1	217	△16.0	△3	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2024年2月期第3四半期	200.02		—					
2023年2月期第3四半期	△2.54		—					

(注) 2023年2月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しております。なお、比較対象となる会計処理方法が異なるため、2023年2月期第3四半期の売上高に関する対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年2月期第3四半期	17,931	5,544	30.9	4,386.89
2023年2月期	17,695	5,328	30.1	4,216.19

(参考) 自己資本 2024年2月期第3四半期 5,544百万円 2023年2月期 5,328百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2024年2月期	—	0.00	—	—	—
2024年2月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年2月期の業績予想 (2023年3月1日~2024年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,100	1.0	402	6.9	420	0.4	199	55.0	157.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2024年2月期3Q	1,264,640株	2023年2月期	1,264,640株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2024年2月期3Q	725株	2023年2月期	725株
------------	------	----------	------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年2月期3Q	1,263,915株	2023年2月期3Q	1,263,939株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(第3四半期累計期間)	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(2023年3月1日～2023年11月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和が一層進み、個人消費の持ち直しや海外からの渡航者の増加など、経済社会活動が正常化に向けて進む一方、不安定な世界情勢の影響などから資源価格の高止まりや円安を背景とした物価上昇により、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社は2024年2月期から2026年2月期までの中期3ヵ年経営計画を踏まえ、以下の項目に重点を置いて営業活動を行いました。

- ①差別化戦略としての6MD商品の強化(6MD商品政策の推進)
- ②来店頻度向上を目的とする販売力の強化
- ③マーケティング力強化によるファミリー顧客層の拡大
- ④ラッキー生鮮・デリカセンターの稼働に伴う商品供給の拡大と体制の確立
- ⑤ローコスト運営の徹底と業務効率の改善による生産性の向上
- ⑥財務体質の強化

①の商品政策面では、6つの商品政策の柱(6MD)のうち、特に「テイスティラッキー」(高品質商品)、「ナチュラルラッキー」(オーガニック食材など)の二つに重点を置いております。これにより、お客様には品質の差を訴求し、競合他社との優位性を築いてまいります。

②③につきましては、従来のチラシ販促に加え、店頭におけるメニュー提案動画の配信やSNSを使った情報発信を組み合わせることによって、ストアロイヤリティの向上を目指します。お客様の利便性向上の一つの目安である、キャッシュレス決済比率は2023年11月末で61.8%となり、前年同月末の59.3%から2.5%増加いたしました。ファミリー顧客層の深耕につきましては、この3月に新設したフードコーディネーター部による新商品開発や、順次実施している店舗改装において、手に取りやすく、買い回りしやすい店舗づくりを行うなどの点に注力しております。

④のラッキー生鮮・デリカセンターは2021年の稼働開始以来順次稼働率を上げ、商品製造を機械化集中する事でコスト削減を実現しております。

⑤につきましては、2023年10月以降、各店にセミセルフ/フルセルフレジの導入を実施しております。同時に行うキャッシュレス決済端末の入れ替えと併せ、待ち時間の短縮を実現いたします。このレジ更新により経費の軽減も見込まれ、コスト体質改善も実現いたします。

⑥につきましては、前記の中期経営計画を実行することで収益力強化と自己資本比率向上等、財務体質の改善を目指します。

また、商品配送にかかる諸問題解決のため、この5月、当社を含め小売業、卸売業、配送業を行う9社が集まり「北海道物流研究会」を発足いたしました。この会は、関連各社が協力し合うことで、物流業界の人手不足問題、いわゆる「2024年問題」を回避する事を目的としています。今後も加入企業が増えることが見込まれ、大きなうねりとなることで小売業における商品配送の無駄を削減し、ひいては環境問題にも貢献できる仕組みを模索いたします。

当第3四半期の売上高は280億3百万円と前年同期比2億83百万円、1.0%の増加となり、営業総利益は80億87百万円と前年同期比1億46百万円増加し、営業総利益率は28.9%と前年同期比1.8%増加いたしました。

販売費及び一般管理費は、77億11百万円と前年同期比25百万円、0.3%の減少となりました。費目別では、エネルギーコストの高止まりを反映し水道光熱費が43百万円増加いたしました。一方、給料及び手当が33百万円、雑給が38百万円、新型コロナウイルス感染症の5類移行によりグローブ等の使用量が減少し消耗品費が38百万円、賃貸契約の見直しにより地代家賃が26百万円減少いたしました。

これらの結果、当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高280億3百万円(前年同期比1.0%増)、経常利益3億90百万円(同79.3%増)、四半期純利益2億52百万円(前年同期は四半期純損失3百万円)となりました。

当第3四半期累計期間における店舗の状況につきましては、新設店舗はありませんでしたが、2023年4月にシティ稚内店、同年10月にシティ紋別店の改装を実施しております。また、経営資源の最適化を図るため同年5月14日付でラッキー衣料館手宮店を閉店しております。2023年11月30日現在の店舗数は、32店舗であります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末と比較して2億35百万円増加し179億31百万円であります。

その主な要因は、現金及び預金の減少が3億86百万円であったものの、売掛金の増加が1億5百万円、商品及び製品の増加が2億86百万円、リース資産の増加が1億89百万円であったことなどによるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末と比較して20百万円増加し123億87百万円であります。

その主な要因は、短期借入金の減少が8億50百万円であったものの、買掛金の増加が3億92百万円、一年以内返済予定額を含む長期借入金の増加が2億7百万円、リース債務（流動負債及び固定負債）の増加が1億98百万円、賞与引当金の増加が1億97百万円であったことなどによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末と比較して2億15百万円増加し55億44百万円であります。

その主な要因は、株主配当金による63百万円の減少があったものの、四半期純利益2億52百万円の計上及びその他有価証券評価差額金が26百万円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

売上高比経常利益率は水道光熱費等の増加を吸収しほぼ前年並みの水準を維持しております。これを踏まえ2024年2月期の業績予想につきましては、2023年4月19日の「2023年2月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

今後の経営環境等の変化により、業績予想について見直しが必要と判断した場合には、適切に開示してまいります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年2月28日)	当第3四半期会計期間 (2023年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,875,209	1,489,072
売掛金	973,072	1,078,207
商品及び製品	1,525,988	1,812,736
原材料及び貯蔵品	54,125	45,141
前払費用	88,345	114,824
未収入金	447,665	390,331
その他	10,389	112,385
貸倒引当金	△267	△267
流動資産合計	4,974,529	5,042,432
固定資産		
有形固定資産		
建物	11,398,328	11,493,220
減価償却累計額及び減損損失累計額	△7,472,363	△7,666,224
建物(純額)	3,925,965	3,826,995
構築物	769,020	769,020
減価償却累計額及び減損損失累計額	△629,823	△646,092
構築物(純額)	139,196	122,927
機械及び装置	2,176	2,176
減価償却累計額	△970	△1,151
機械及び装置(純額)	1,205	1,024
車両運搬具	7,522	7,522
減価償却累計額	△7,522	△7,522
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品	515,298	446,057
減価償却累計額及び減損損失累計額	△487,519	△415,422
工具、器具及び備品(純額)	27,779	30,634
土地	6,038,177	6,038,177
リース資産	596,370	804,891
減価償却累計額及び減損損失累計額	△282,608	△301,368
リース資産(純額)	313,762	503,522
建設仮勘定	—	5,269
有形固定資産合計	10,446,086	10,528,551
無形固定資産		
ソフトウェア	38,766	31,901
電話加入権	18,228	18,228
無形固定資産合計	56,995	50,130
投資その他の資産		
投資有価証券	202,918	231,648
出資金	479	479
長期前払費用	55,559	48,958
繰延税金資産	410,501	450,381
長期預金	—	100,000
差入保証金	1,548,716	1,479,188
投資その他の資産合計	2,218,175	2,310,658
固定資産合計	12,721,258	12,889,340
資産合計	17,695,787	17,931,772

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年2月28日)	当第3四半期会計期間 (2023年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,344,817	2,737,178
短期借入金	3,950,000	3,100,000
1年内返済予定の長期借入金	1,024,830	1,016,101
リース債務	112,439	162,105
未払金	449,300	357,614
未払費用	316,623	333,457
未払法人税等	66,004	143,212
未払消費税等	147,302	43,357
前受金	17,520	41,459
預り金	766,341	734,794
賞与引当金	99,197	296,597
流動負債合計	9,294,377	8,965,877
固定負債		
長期借入金	1,596,986	1,813,206
リース債務	269,009	417,464
退職給付引当金	861,392	850,349
長期預り保証金	258,458	252,880
資産除去債務	65,012	65,685
長期末払金	21,650	21,650
固定負債合計	3,072,509	3,421,235
負債合計	12,366,887	12,387,113
純資産の部		
株主資本		
資本金	641,808	641,808
資本剰余金		
資本準備金	161,000	161,000
その他資本剰余金	190,215	190,215
資本剰余金合計	351,215	351,215
利益剰余金		
その他利益剰余金		
別途積立金	2,465,000	2,465,000
繰越利益剰余金	1,835,251	2,024,860
利益剰余金合計	4,300,251	4,489,860
自己株式	△2,054	△2,054
株主資本合計	5,291,220	5,480,829
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	37,679	63,829
評価・換算差額等合計	37,679	63,829
純資産合計	5,328,899	5,544,659
負債純資産合計	17,695,787	17,931,772

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)
売上高	27,720,492	28,003,659
売上原価	19,977,102	20,108,232
売上総利益	7,743,389	7,895,427
営業収入		
不動産賃貸収入	198,133	192,352
営業収入合計	198,133	192,352
営業総利益	7,941,523	8,087,780
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	251,101	239,124
配送費	643,310	638,153
販売手数料	96,765	105,542
給料及び手当	1,439,955	1,406,889
賞与引当金繰入額	232,794	296,597
退職給付費用	78,857	77,614
雑給	1,842,582	1,803,968
水道光熱費	708,468	752,046
減価償却費	328,551	316,968
地代家賃	628,070	602,045
その他	1,487,151	1,473,036
販売費及び一般管理費合計	7,737,610	7,711,986
営業利益	203,912	375,793
営業外収益		
受取利息	3,539	2,996
受取配当金	7,723	7,627
受取事務手数料	10,105	10,286
助成金収入	4,179	1,631
雑収入	9,289	9,100
営業外収益合計	34,837	31,642
営業外費用		
支払利息	17,534	15,227
社債発行費償却	422	—
雑損失	2,917	1,660
営業外費用合計	20,875	16,887
経常利益	217,874	390,548
特別損失		
減損損失	3,024	12,808
固定資産除売却損	208,453	4,184
特別損失合計	211,477	16,992
税引前四半期純利益	6,397	373,555
法人税、住民税及び事業税	28,323	166,210
法人税等調整額	△18,715	△45,459
法人税等合計	9,608	120,750
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△3,211	252,805

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。